

# 2億6037万円の補正、全会一致で可決 緊急経済対策第二弾の柱は雇用対策と中小企業支援

第1回臨時市議会が19日開かれ、2億6037万円の一般会計補正予算を審議、採決の結果、全会一致で可決しました。

今回の補正では、政府が打ち出した経済対策が国会で決まるまで待つていられないとして、市内の雇用確保と中小企業支援を中心とした施策実施のための予算が盛り込まれました。

雇用対策としては、臨時職員80人の雇用経費及び新設した「緊急雇用安定対策助成金」で4789万円、中小企業支援として道路などの改良工事、保育園、小・中学校の修繕、備品購入などで2億2941万円を計上しています。今回の補正予算に対して日本共産党議員団の上野公悦議員など4議員が総括質疑で登壇し、対策の拡充などについてただしました。上野議員は、「企業の倒産を防止すること、



新潟県労働組合総連合の役員が22日、上越市役所を訪れ、雇用実態や市の施策について調査を行いました。これには、日本共産党議員団も同席しました。国の事業所・企業統計調査では市内の雇用労働者は8万4860人、非正規労働者数は2万6749人となっています。

またその下で働く社員の解雇、特に派遣社員や期間契約社員の雇止めを防止し、雇用を守ることは市の大きな責任だ」と市長が言われる。「百年に一度の経済災害」と言うことであれば、私は、規模や内容において、市民の暮らし、営業を守るためにはもっと総合的な支援措置、対策を打ち出すべきではないか」と追及しました。

これについて木浦市長は、「緊急経済対策として雇用対策、中小企業支援の2つに絞ったのは、市民生活に密着し即効性があるからだ。市内の循環を促し、お金が広く行き渡るものと期待している。できるかぎりの最大限の対策としてお願いした」と答えるにとどまりました。

また、今回の補正でマスコミなどから最も注目されたのは緊急雇用安定対策助成金制度についてですが、木浦市長は、「国、県の動向を踏まえ、制度の継続、拡充を検討していきたい」と答弁しました。

## 市長、各区地域協議会に地域事業見直しを諮問

木浦市長はこのほど、13区の地域協議会に対して新市建設計画の地域事業の見直しについての意見を求める諮問を行いました。諮問の理由については、「改定後の第5次総合計画との整合を図る中で、改めて既存の地域事業を検証し、合併後の社会情勢の変化や財政状況、新たな地域ニーズ等を踏まえた見直しを行うため」としています。

市が見直し案として各地域協議会に示したものは、平成21年度から26年度まで取り組む事業です。財政見通しが合併当初よりも厳しく

なっていることから、当初予定されていた道路改良等の計画が削除された区もあります。吉川区地域協議会は19日、この諮問についての一回目の審議を行いました。次回は来月2日に会議を予定しており、この日に答申をまとめることになりそうです。裏面に吉川区に関する市の見直し案を掲載しましたので、ご覧ください。

## テレビ難民出ぬよう支援措置を

20日の総務常任委員会で私は、デジタルテレビ難民がでないよう支援策をとるべきだと主張しました。

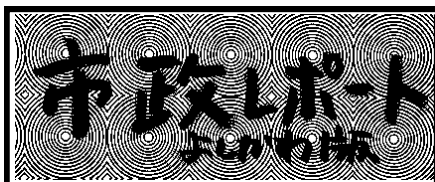
答弁に立った中川周一副市長は、「ある日突然テレビが見れなくなるとするのはゆゆしき事態。事前に入念な準備が必要だ。最善の準備をしていきたい」とのべました。

国は2011年7月24日でアナログ放送を終了させ、デジタル放送へ移行することを決めています。マスコミでも思うようにデジタル化が進んでいないと報道されていますが、障がい者や生活困窮者の方などがテレビを見られないという事態を生んではなりません。

## バス通学援助制度問題で市民懇談会を開催します

日本共産党市議団は、今年度の市政の重要問題のひとつ、通学バス援助制度について市民懇談会を開催することにしました。議員団の4人が参加します。今回は頸北地区が対象です。ぜひとも、誘いあってご参加ください。

日時：2月5日（木）  
午後7時から  
場所：柿崎地区公民館  
(総合事務所隣の旧町民会館)



NO 1381  
2009.1.25

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
TEL 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>



# 吉川区地域事業一覧(案) (平成21年度～平成26年度実施事業)

《諮問事項》

《参考》

当初・追加	通番号	事業名	事業概要	実施予定期間
当初	1	農山村都市交流拠点整備事業	交流拠点施設整備(滞在型体験宿泊棟)	H25～H26
	2	一般廃棄物最終処分場適正閉鎖事業	一般廃棄物最終処分場の埋立て終了に伴い、施設の撤去を行い処分場を適正閉鎖する。 18年度事業 廃棄物の埋立て終了に伴い、公共残土を利用して最終覆土 19年度事業 最終覆土の上層部に緑化工事 21年度以降 廃棄物の安定が確認され、県の施設廃止許可を得て施設の撤去工事	H18～H26
	3	保育園整備事業	既に30数年経過している各保育園施設の大規模改修や増築を行う。 ①吉川中央保育園の大規模改修 ②旭保育園の事務室の増築	H22～H23
	4	林道整備事業	良質材の生産や間伐材の有効利用等の促進により林業の振興を図るとともに、森林が持つ多面的な機能を発揮させることを目的として平成4年度から事業推進している。平成14年度から平成16年度まで県営治山事業の関連で工事を中止してきたが、事業を再開し全線完了する。 路線名 林道岩沢米山線 事業内容 測量調査、設計実施、用地買収、林道開設工事	H25～H26
	5	小・中学校校舎改修事業	吉川小学校校舎の防水屋根工事・外壁工事・建具・電気・機械・内装(床・壁)工事およびグラウンド、付帯施設の改修。 平成20年度 実施設計委託 平成21年度～ 工事実施	H20～H26
	6	道路整備事業	地域において域内幹線道路、集落間道路、集落内道路としての機能を有している市道は、幅員が狭く車のすれ違いが難しい箇所、曲線区間で見通しが悪い箇所、道路勾配が急峻で降雨や降雪で滑りやすい箇所等があり、それらの改善を図ることにより安全で安心して利用できる道路環境確保のため整備を行う。また、高齢化社会を迎えて、高齢者や子供たちに優しく、使いやすいゆとりのある道路、雪に強い安全な道路整備を図るとともに、構築してから20数年の年月を経て道路舗装や付帯する構造物が劣化により破損していることから道路整備を計画的に実施する。 路線名 市道米山線、市道東田中下中条線、市道古戦場線、市道石谷村中線、市道大賀線、市道赤沢線、 市道大口線、市道東寺線 事業内容 測量調査、設計実施、用地買収、道路改良舗装工事	H17～H26
	7	吉川区ケーブルテレビ施設改修事業	ケーブルテレビ事業の継続・拡充を基本に計画的な整備推進を図る。 ・自主放送番組送出及びバックアップ設備のデジタル化 ・ケーブルインターネットの超高速化(100Mbps超) ・ヘッドエンド等設備の改修・修繕	H17～H26
追加	8	観光施設修繕事業(吉川スカイピア遊ランド管理運営費)	吉川スカイピア遊ランドの修繕及びパラグライダーテイクオフ整備を行う。 <20年度> 吉川スカイピア遊ランドの修繕 ・設計管理委託料 ・修繕工事一式 ・営繕修繕一式 <21年度> ・パラグライダーテイクオフ整備 <22年度>・吉川スカイピア遊ランドの修繕 ・修繕工事一式	H20～H22
	9	道路整備事業	地域において域内幹線道路、集落間道路、集落内道路としての機能を有している市道は、幅員が狭く車のすれ違いが難しい箇所、曲線区間で見通しが悪い箇所、道路勾配が急峻で降雨や降雪で滑りやすい箇所等があり、それらの改善を図ることにより安全で安心して利用できる道路環境確保のため整備を行う。また、高齢化社会を迎えて、高齢者や子供たちに優しく、使いやすいゆとりのある道路、雪に強い安全な道路整備を図るとともに、構築してから20数年の年月を経て道路舗装や付帯する構造物が劣化により破損していることから道路整備を計画的に実施する。 路線名 市道入連坊線、市道稲場大賀線、市道町田梶線、市道長峰中央線、市道長坂線 事業内容 測量調査、設計実施、用地買収、道路改良舗装工事	H20～H26
	10	吉川区ケーブルテレビ運営事業	ケーブルテレビ事業の継続・拡充を基本に安定した運営を行う。	H17～H26

## 《参考》 地域事業の事業費配分額

配分額(平成17～26年度)		進捗率 (H17～H20)
	うち、平成21～26年度	
19.33億円	9.92億円	48.71%

※配分額は100万円未満を四捨五入しています。

上記の諮問については、来月2日開催予定の吉川区地域協議会で答申がまとめられる予定です。

ご意見、ご注文がありましたら、地域協議会事務局(有線2016)に連絡してください。



いま話題の米粉麺(手前)



「さいの神」行事は今年もいくつかの町内会で取り组まれました。写真は代石町内会です。五穀豊穡、無病息災を願って集まった人たちは、まっすぐ燃え上がった炎に歓声をあげていました。最後は燃え残りのススを顔に塗り合っ、飲んで……。11日撮影。